

長野県社保協ニュース <22-2>

2017年4月5日(水) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com

E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

さらなる負担増と保険外し

高齢者の尊厳奪う介護保険法「改正」法案の廃案を!



現役並みの所得者に3割の負担増、公的な社会保障制度をいっそう「自助・互助」へ置き換える「我が事・丸ごと」地域共生社会をすすめるなどを盛り込んだ介護保険法「改正」法案が、28日衆院本会議で審議入りしました。

利用負担は2015年の改悪で一部利用者を倍の2割負担に引き上げたばかり。このうち、年金収入340万円以上の人の負担を今度は3割に引き上げるといふものです。また「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現という名目で、介護保険からの『卒業』を目標に、自治体の「自立支援事業」などの実績評価として財政優遇を設け保険者間を競わせる、介護療養病床を廃止しその代わりに「介護医療院」を創設するなどといった重要な内容が盛り込まれています。

審議のなかで安倍首相は「自己負担増による状態悪化やサービス利用の減少は確認されていない」などと実態を見ない答弁に終始。塩崎厚労相は「我が事・丸ごと」共生社会の実現では、日本の社会保障制度を『日本の原風景にもどす』ことが最大の使命と公言しています。

介護「改正」法案は社会保障の自然増を1400億円抑制するための政府予算の具体化であり、高齢者の尊厳を奪う大改悪です。「森友疑惑」「共謀罪」とともに後半国会の最大焦点のひとつです。こんな改悪を許すわけにはいきません。審議入りを受け、緊急の国会行動が提起されています。国会議員要請などに地域の介護の実態とともに私たちの声を届けましょう。

- 国会傍聴行動: 4月7日(金) 午前9時~12時、午後1時~5時 4月12日(水) 午前9時~12時、午後1時~5時 4月14日(金) 午前9時~12時、午後1時~5時
- 国会議員へのFAX要請 「わたしのひとこと」を添えて地元国会議員に要請を
- 4.12院内集会 10:30~14:30 参議院議員会館 B103 会議室 全日本民医連、東京社保協と共同

3/18 地域医療構想を考える

市民のつどいに150名 飯伊

「地域医療構想を押し付けられたら地域が壊れかねない」との認識をもつ医師会、飯伊包括医療協議会など地域の医療・介護事業所の関係者から地域住民にアピールしたい、そんな願いで開かれた「市民のつどい」(主催:医療社会法人健和会)が南信州・飯田産業センターで開催されました。

メイン講演で新野へき地診療所長の原政博医師は「国の進める骨太方針のもとで長野県は3600床、飯伊では177床のベッド削減が例外なく押し付けられる」「医療機関が役割を分担・協力しあい健康度が高く低医療費が実現しているこの状況を破壊する行為」と語りました。

各分野からは2018年の介護療養病床の廃止を受け「家庭介護力低下のなかどうやって医療度の高い方を介護していくのか」「押し出された利用者を在宅や施設でみる受け皿があるのか」といった声が出され、このままでは地域が大混乱するという懸念が表明されました。参加者の感想には「地域の現状と今後の問題がよくわかった」「利用者の声に心を打たれた」「良い企画であり健和会に感謝」といった声が寄せられ、主催者で民医連飯伊地域連絡会の林憲治さんは、「こうした機会を健和会が架け橋となって今後も築いていきたい」と語っています。

